２０２４年度

入　学　試　験　要　項

編入学試験
学士入学試験

商　学　部
人文学部
法　学　部
経済科学部
人間環境学部

広島修道大学

目　　次

広島修道大学のアドミッション・ポリシー …… 1
学部・学科・専攻における募集学年及び募集人員 …… 22

編入学試験・学士入学試験
1．出願期間・試験日・試験場・合格発表日・手続期間 …… 23
2．出願資格 …… 23
3．試験科目・試験時間・配点 …… 24
4．選抜方法 …… 24
5．出願書類 …… 25
6．入学検定料 …… 25
7．出願方法 …… 26
8．障がいなどのある志願者の配慮について …… 26
9．受験票の交付について …… 26
10．試験日・試験場 …… 26
11．受験上の注意 …… 27
12．合格発表 …… 28
13．入学手続 …… 28
14．諸納付金 …… 29
15．既修得単位の認定 …… 29

入学志願票等記入上の注意 …… 30
試験場案内 …… 32
各種提出書類（本学所定用紙） …… 33

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって、書類等でお知らせいただく情報につきましては、以下の目的のために利用します。
1．入学試験実施・運営
2．受験票の送付
3．合格通知書及び本人の「合否結果」、入学手続要項の送付
4．入学準備学習の資料送付
5．インターネット入学手続及び入学後の学籍登録
6．「生協関連カタログ（ただし、大学との協議を経たもの）」の発送

合格者の入学後は、教育・調査・研究（入学試験の改善や志願者動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

なお、個人情報については、適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者に委託することがあります。

大学からのお知らせ等がある場合は、入試情報サイトに掲載しますので確認してください。

広島修道大学のアドミッション・ポリシー

学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1．大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2．地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3．主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲がある人
4．持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、合否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。

■商学部

1．求める学生像

商学部では、世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協働して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

2．入学試験制度と評価

商学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

3．商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

■商学部　商学科

1．求める学生像

商学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、商学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。商学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能
高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。商学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

⑵　思考力・判断力・表現力
商学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等
多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

２．入学試験制度と評価

商学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文（資料小論文）、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の３要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文（資料小論文）を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の３要素全てを評価します。出願書類では、学力の３要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜［活動実績重視方式］では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜［小論文重視方式］では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の３要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の３要素を全て評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

商学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の３要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

総合型選抜［活動実績重視方式］と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験（日本語・総合科目）の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に３年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・

出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3．商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

（別表）商学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔活動実績重視方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 〔小論文重視方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■商学部　経営学科

1．求める学生像

経営学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、経営学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。経営学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。経営学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

⑵　思考力・判断力・表現力

経営学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

２．入学試験制度と評価

経営学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

経営学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、経営学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文（資料小論文）、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の３要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文（資料小論文）を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の３要素全てを評価します。出願書類では、学力の３要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜［活動実績重視方式］では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜［小論文重視方式］では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の３要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の３要素を全て評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

経営学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の３要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

総合型選抜［活動実績重視方式］と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験（日本語・総合科目）の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に３年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

３．経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力･判断力･表現力、③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

（別表）経営学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔活動実績重視方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 〔小論文重視方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　社会学科

※人文学部人間関係学科社会学専攻に入学を希望される方は社会学科を人間関係学科社会学専攻に読みかえて下さい。

１．求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、⑴社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、⑵豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会学的視点から実社会を理解しようと努める人、⑶社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、⑷将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会におけるさまざまな現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会学的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

⑶　主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっていこうとする意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

２．入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識･技能、思考力･判断力･表現力に重点を置いて評価･判定します。

⑶　総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動･経験などを加味して選抜します。さらに、面接に基づいて、「思考力･判断力･表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から､主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

⑻　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑼　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑽　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

３．社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

⑴　社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会学的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。

⑵　修得した社会学的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会学的思考力・判断力・コミュニケーション能力。

⑶　激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会学的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。

⑷　国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。

（別表）社会学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書	○	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　教育学科

１．求める学生像

教育学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につけることが必要です。

教育学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

⑵　思考力・判断力・表現力

教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。

情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

⑶　主体性等

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。

多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

２．入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に

評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、　言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑻　社会人選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3．教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教える－学ぶ」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。

（別表）教育学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜 （前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜 （後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　英語英文学科

1．求める学生像

英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要不可欠な努力を惜しまず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者とともに問題の解決に当たる協働性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれを踏まえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

英語学習に関しては、英文法を一通り学習すること、正しい発音で大きな声で音読すること、英検等各種検定試験に積極的に挑戦することです。これらのことは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」等の育成に役立ちます。

2．入学試験制度と評価

英語英文学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識･技能、思考力･判断力･表現力に重点を置いて評価･判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、資料小論文試験に基づいて基礎となる英語能力及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接に基づいて、主体性と、口頭による思考力･判断力･表現力を評価します。また、出願書類に基づき、取得した英語資格も加味します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3．英語英文学科の教育を通じて養う能力

言語としての英語、及び英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性を持って協創する能力を身につけます。

（別表）英語英文学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・英語力試験 ・面接 ・調査書 ・活動報告書	◎	・英語力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・英語資格・検定 ・推薦書 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■法学部

１．求める学生像

法学部法律学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎的な学力を備えている人を様々な入学制度により選抜し、受け入れます。求める学生像は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人で、法と国家・社会の関わりに関心を持ち、社会に生じる問題について多様な価値観を尊重しつつ合理的な解決に向けて意欲的に学習し行動しようとする人です。

⑴　知識・技能

まず、国語の基礎学力を有する学生を求めます。法律学科で法解釈の素養を身につけるためには、正確に文章を読み解き、論理的に考えることがとりわけ重要です。次に、理数系科目の基礎学力を有する学生を求めます。法学に必要な論理的思考力は数学などの理数系科目の学習によって培われると考えられています。また、グローバル化した社会の中で法的素養を身につけるには、諸外国の法制度にも関心を持たなければなりません。そのため、高等学校における英語の教科に関する知識・技能を有する学生を求めます。さらに、今日の法制度を学ぶにあたって、歴史的な経緯を理解することも重要であるため、日本史・世界史の知識を有することも必要です。

⑵　思考力・判断力・表現力

公正な社会の実現に努める意欲を持っており、様々な社会の諸現象や諸問題に強い関心があり、自ら調査し、事態の背景や推移を正確に理解し、問題解決に必要な情報を収集・蓄積することのできる学生、先入観や偏見にとらわれず、多様な考え方や価値観を学習・理解するとともに、多数の解決法を比較・選択したうえで、自分の意見を決定することのできる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現することのできる学生を求めます。

⑶　主体性等

法律専門家・公務員・企業人など、将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生、多様な立場や価値観を尊重し、他者の意見や価値観の相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有する学生を求めます。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

法律の学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって法学部法律学科への入学を希望する学生は、高等学校における科目の教科書レベルの知識を幅広くしっかりと習得していることが大切です。特に国語や数学、英語、歴史などの科目をしっかり学んでください。また、新聞や様々な本を読むことにより、社会科学に関する幅広い知識を習得できるため、新聞や様々な本を読むことを強くおすすめします。

2．入学試験制度と評価

法学部法律学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」に重点を置き、特定の課題に関するゼミナール（ゼミナール方式の場合）・社会問題についての小論文（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、面接（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、活動報告書（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置き、英語試験（英語方式）・資料小論文試験（小論文方式）、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で、社会問題についての小論文及び社会問題に関する３分間説明、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（附属校）では、学力の３要素全てを同等の比重で、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜（ゼミナール方式）と同じ方式で実施します。

⑻　外国人留学生選抜

主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、資料小論文試験、日本留学試験のスコア、面接、出願書類等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

第３学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、英語試験・資料小論文試験、面接、成績証明書、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3．法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見及び解決に取り組み、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

（別表）法学部　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔ゼミナール方式〕	○	・ゼミナール ・調査書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・調査書 ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨
	総合型選抜 〔スポーツ実績方式〕 〔芸術・文化実績方式〕	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・調査書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・志望理由書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■経済科学部

１．求める学生像

経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

２．入学試験制度と評価

経済科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

３．経済科学部の教育を通じて養う能力

経済科学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

■経済科学部　現代経済学科

1．求める学生像

現代経済学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。現代経済学科が求める学生像は、経済社会・経済問題・経済現象等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、現代経済学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

経済問題や経済現象に対し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

⑶　主体性等

経済問題や経済現象に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、現代経済学科の大半の講義は修得できます。

2．入学試験制度と評価

現代経済学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

講義理解力試験で現代経済学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、現代経済学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

修学実績をともなう高校等を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

３．現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会を体系的に把握かつ科学的に分析する能力を有する人材」として養成します。

（別表）現代経済学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■経済科学部　経済情報学科

1．求める学生像

経済情報学科は､学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を､様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。経済情報学科が求める学生像は、情報社会・情報科学・システム科学等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」､「思考力・判断力・表現力」､「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、経済情報学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

情報科学やシステム科学の学修に際し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

⑶　主体性等

情報科学やシステム科学に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、経済情報学科の大半の講義は修得できます。

2．入学試験制度と評価

経済情報学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」､「思考力・判断力・表現力」､「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識･技能、思考力･判断力･表現力に重点を置いて評価･判定します。

⑶　総合型選抜

講義理解力試験で経済情報学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、経済情報学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

修学実績をともなう高校等を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

３．経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「経済社会の発展に貢献しうる情報処理能力及び論理的思考力を有する人材」として養成します。

（別表）経済情報学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人間環境学部　人間環境学科

1．求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人
・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人
・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

⑵　思考力・判断力・表現力

・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人
・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人
・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

⑶　主体性等

・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人
・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人
・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2．入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の３要素のうち、知識･技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかり理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜〔レポート方式〕、総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕、総合型選抜〔活動実績方式〕があります。

総合型選抜〔レポート方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔レポート方式〕では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するプレゼンテーション審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔活動実績方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、小論文、面接、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔活動実績方式〕では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕があります。

学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の個別学力検査、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式・併願〕、学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式・併願〕があります。

学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式･併願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式・併願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式･併願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、数学の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式・併願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

本学への入学を強く希望し、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑺　社会人選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、面接、志望理由書、調査書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。社会人選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑻　帰国生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、総合型選抜と同じ方式で多面的・総合的に評価・判定します。ただし、総合型選抜における調査書の代わりとなる出願書類の提出を求めます。

⑼　外国人留学生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、日本留学試験（日本語）の成績、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。外国人留学生選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑽　編入学試験・学士入学試験

第３学年次に修学するために必要な学力を有する者を選抜するために、英語の個別学力検査、小論文、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的･総合的に評価します。　編入学試験･学士入学試験では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

３．人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。

（別表）人間環境学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔レポート方式〕	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・レポート	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 〔プレゼンテーション方式〕	○	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 〔活動実績方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績	○	・小論文 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式・専願〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式・併願〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・英語資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔数学資格方式・併願〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・数学資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

学部・学科・専攻における募集学年及び募集人員

学部	学科	専攻	募集学年及び募集人員			
			編入学試験		学士入学試験	
			学年	人員	学年	人員
商	商		第3学年	若干名	第3学年	若干名
	経営			若干名		若干名
人文	人間関係	社会学	第3学年	若干名	第3学年	若干名
	教育			若干名		若干名
	英語英文			若干名		若干名
法	法律		第3学年	若干名	第3学年	若干名
経済科	現代経済		第3学年	若干名	第3学年	若干名
	経済情報			若干名		若干名
人間環境	人間環境		第3学年	若干名	第3学年	若干名

※健康科学部、国際コミュニティ学部は、2024年度編入学試験、学士入学試験を実施しません。

編入学試験・学士入学試験

1．出願期間・試験日・試験場・合格発表日・手続期間

学　部	学　科	専　攻	出願期間	試　験　日	試験場	合格発表日	入学手続期間
商	商		2023年 **12月13日(水)** ～ **12月21日(木)** **（締切日必着）**	2024年 **1月6日(土)**	広島 （本学）	2024年 **1月11日(木)**	**［一括手続］** 2024年**2月16日(金)～2月22日(木)** （締切日消印有効）
	経　営						
人　文	人間関係	社会学	2024年 **2月15日(木)** ～ **2月26日(月)** **（締切日必着）**	2024年 **3月4日(月)**	広島 （本学）	2024年 **3月9日(土)**	**［一括手続］** 2024年**3月11日(月)～3月18日(月)** （締切日消印有効）
	教　育						
	英語英文						
法	法　律						
経済科	現代経済						
	経済情報						
人間環境	人間環境						

2．出願資格

【編入学試験】

次のいずれかに該当する者

a．大学において２年以上在学し、62単位以上を修得した者または修得見込みの者

b．短期大学を卒業した者または卒業見込みの者

c．高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者

d．学校教育法施行規則第155条第１項の規定にもとづく者

e．外国において学校教育14年の課程を修了した者

f．修業年限が２年以上で、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専修学校の専門課程を修了した者または2024年３月修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

※a、b、c、fにおいて「見込み」で受験した者が2024年３月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

〔商学部・人文学部・法学部〕

なお、eに該当する外国人留学生は、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者とします。

〔経済科学部・人間環境学部〕

なお、eに該当する外国人留学生は、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**を受験している者とします。

【学士入学試験】

次のいずれかに該当する者

a．学士の学位を有する者または学士の学位を取得する見込みの者

b．学校教育法施行規則第155条第１項の規定にもとづく者

c．外国において学校教育16年の課程を修了した者

※ａにおいて「見込み」で受験した者が2024年３月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

〔人文学部・法学部〕

なお、ｃに該当する外国人留学生は、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者とします。

〔商学部・経済科学部・人間環境学部〕

なお、ｃに該当する外国人留学生は、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**を受験している者とします。

３．試験科目・試験時間・配点

学　部	学　科	専　攻	試　験　科　目	試験時間	配点
商	商		英　語	10:00～11:00	100点
			小論文	11:30～12:30	100点
	経　営		面接（個別）※出願書類にもとづき行う	13:30～	50点
人　文	人間関係	社会学	英　語	10:00～11:00	100点
			小論文	11:30～12:30	100点
	教　育		面接（個別）	13:30～	100点
	英語英文		英　語	10:00～11:10	100点
			面接（個別）	12:30～	100点
法	法　律		英　語	10:00～11:00	100点
			小論文（資料小論文）	11:20～12:30	100点
			面接（個別）※出願書類にもとづき行う	13:30～	－
経済科	現代経済		英　語	10:00～11:00	100点
			経済学	11:30～12:30	100点
			面接（個別）	13:30～	50点
			出願書類（志望理由書）	－	50点
	経済情報		英　語	10:00～11:00	100点
			数　学	11:30～12:30	100点
			面接（個別）	13:30～	50点
			出願書類（志望理由書）	－	50点
人間環境	人間環境		英　語	10:00～11:00	100点
			小論文（資料小論文）	11:30～12:30	100点
			志望理由書＋面接（個別）	13:30～	100点

※英語の試験は辞書持込不可です。

４．選抜方法

学科試験、面接の結果及び出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

（外国人留学生については、上記の他に日本留学試験の成績を加えて多面的・総合的に評価・判定します。）

5．出願書類

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等を使用し、**再記入してください。

【編入学試験】

⑴ **入学志願票（A）、受験票（B）（本学所定用紙　41ページ）**
30～31ページ「志願票等記入上の注意」をよく読み、誤りのないように記入してください。
入学志願票（A）と受験票（B）は一連綴りになっています。

⑵ **成績証明書**（出願資格のａに該当し、既修得単位数が62単位に達しない者は、単位修得見込み証明書を合わせて提出してください）

⑶ **卒業（在学）証明書または卒業見込証明書**

⑷ **志望理由書（本学所定用紙　39・40ページ）**
志願者本人の自筆、横書きで作成してください。
本学当該学部・学科を志望する動機・理由を書いてください。その際、これまで大学や短期大学等で勉強してきたこと、及び将来の希望を関連させて、日本語**1,000字**程度にまとめてください。

⑸ **その他**

※外国において学校教育14年の課程を修了した者については、履歴書（本学所定用紙　35ページ）を提出してください。
※外国人留学生については、履歴書（本学所定用紙　35ページ）、日本留学試験の成績通知書及び留学にかかる収入予定書（本学所定用紙　37ページ）を日本語または英語で提出してください。

【学士入学試験】

⑴ **入学志願票（A）、受験票（B）（本学所定用紙　41ページ）**
30～31ページ「志願票等記入上の注意」をよく読み、誤りのないよう記入してください。
志願票（A）、受験票（B）は一連綴りになっています。

⑵ **成績証明書（単位修得証明書）**

⑶ **卒業（在学）証明書または卒業見込証明書**

⑷ **志望理由書（本学所定用紙　39・40ページ）**
志願者本人の自筆、横書きで作成してください。
本学当該学部・学科を志望する動機・理由を書いてください。その際、これまで大学や短期大学等で勉強してきたこと、及び将来の希望を関連させて、日本語**1,000字**程度にまとめてください。

⑸ **その他**

※外国において学校教育16年の課程を修了した者については、履歴書（本学所定用紙　35ページ）を提出してください。
※外国人留学生については、履歴書（本学所定用紙　35ページ）、日本留学試験の成績通知書及び留学にかかる収入予定書（本学所定用紙　37ページ）を日本語または英語で提出してください。

6．入学検定料

30,000円

※入学検定料は郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないで出願書類とともに郵送してください。

7．出願方法

出願期間：商学部	**2023年12月13日（水）～12月21日（木）**	**（締切日必着）**
人文・法・経済科・人間環境学部	**2024年２月15日（木）～２月26日（月）**	**（締切日必着）**

⑴出願書類の提出は郵送に限ります。
⑵本学所定の「出願用封筒」に必要事項を記入し、出願書類を同封の上、必ず**速達・簡易書留**で送付してください。
⑶出願書類に不備がある場合は受け付けない場合がありますので注意してください。
⑷郵便事情も考慮して、出願に必要な書類はなるべく早く本学に到着するよう送付してください。
（注意事項）納入した入学検定料及び出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。出願にあたっては、よく確認して手続をしてください。

8．障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮及び入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち商学部は2023年11月６日（月）までに、人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部は2024年２月５日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

9．受験票の交付について

⑴　受験票は郵送により交付しますので、裏面には必ず郵便番号・住所・氏名を明記してください。
⑵　受験票の発送は郵便事情や願書処理状況により多少遅れる場合があります。
商学部は2024年１月４日（木）、人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部は2024年２月28日（水）を経過しても受験票が届かない場合は、本学入学センターへ問い合わせてください。

10．試験日・試験場

商学部　2024年１月６日（土）
人文・法・経済科・人間環境学部　2024年３月４日（月）

広島修道大学（本学）
広島市安佐南区大塚東１－１－１（試験場案内　32ページ）
＊試験場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。

11. 受験上の注意

⑴ **試験当日は、午前９時40分**までに各自指定された試験室に入室してください。

⑵ 受験票は必ず携行して、各時限とも机の上に置いてください。

⑶ 毎試験開始後**20分以上**の遅刻者は受験できません。

⑷ 黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計算機能や辞書機能及び通信機能つきのものを除く）、直線定規、メガネ、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）以外の使用はできません。

⑸ 漢字や英単語がプリントされている衣服の着用や筆記用具の使用は認めません。

⑹ 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等に入れてください。試験時間中にこれらをカバン等に入れずに、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為になります。

⑺ 不正行為者には退場を命じ、全科目を無効とします。

⑻ 試験時間中の退室は認めません。

⑼ 試験室においては、すべて試験監督者の指示にしたがってください。

⑽ 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、入試本部に申し出てください。

⑾ 試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能及び通信機能つきの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計として使用できません。

⑿ １時限目の試験を受験しないと、２時限目以降の受験は認められませんので注意してください。

⒀ 気象状況の悪化、感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ（https://www.shudo-u.ac.jp）にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。

⒁ 感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかっている場合には、受験できません。

感染症（インフルエンザ・はしかなど）による入学試験の欠席及び入学検定料の返還について

Ⅰ．学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

Ⅱ．Ⅰ．により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

①入学検定料返還の対象者

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。

②入学検定料返還の申請方法

⒜以下の日時に電話をしてください。

受 付 日：欠席をする試験当日

受付時間：９:00～15:00

電話番号：082－830－1100（広島修道大学入学センター）

注：申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱うこととし、入学検定料の返還はしません。

⒝以下の申請書類を提出してください。

⒜入学検定料返還申請書〈本学所定用紙〉※電話による申請受付後に本学から郵送します。

⒝診断書　※以下の内容が記載されているもの

病　　名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症 加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

12. 合格発表

合格発表日：商学部　　2024年１月11日（木）午前10時（予定）
人文・法・経済科・人間環境学部　2024年３月９日（土）午前10時（予定）

⑴　合格者には、合格発表日に**「合格通知書」**と**「入学手続書類」**を**速達**で郵送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下⑵で合格を確認したうえで、商学部は１月18日㈭、その他の学部は３月14日㈭を過ぎても届かない場合は、本学入学センターまで連絡してください。

⑵　合否確認の補助手段として、合格発表当日の10：00から３日間「合格者受験番号一覧」を本学入試情報サイトに掲載します。

（注意事項）合格発表に関する本学への電話等での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

13. 入学手続

⑴　入学手続

ア．手続期間**【商学部】**
　　［一括手続］2024年２月16日（金）～２月22日（木）（締切日消印有効）
　　【人文・法・経済科・人間環境学部】
　　［一括手続］2024年３月11日（月）～３月18日（月）（締切日消印有効）

イ．手続内容**【入学金の納入】**、**【前期分諸納付金の納入】**、**【インターネット入力】**及び
　　【手続書類の提出】

＊手続期間内に入学手続を完了しない者は、いかなる理由があろうとも、入学を辞退したものとみなし、入学を許可しません。

⑵　入学辞退者への入学金を除く前期分諸納付金の返還について

入学手続を完了した後に、本学入学を辞退する方については、**入学金を除く**前期分諸納付金を返還します。
返還を希望する方は、入学手続インターネット入力画面から「入学辞退届」をダウンロードし、2024年３月29日（金）（16：45**必着**）までに本学入学センターに提出してください。

14. 諸納付金（2024年度予定）

商学部／人文学部 人間関係学科 社会学専攻／人文学部 英語英文学科／法学部／
経済科学部 現代経済学科／人間環境学部　（単位：円）

区分			初年度 一括手続 入学手続時	初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	次年度	２年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	－	220,000
		授業料	390,000	390,000	780,000	780,000	1,560,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	440,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	10,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	12,000
合計			731,000	500,000	1,231,000	1,011,000	2,242,000

人文学部 教育学科／経済科学部 経済情報学科　（単位：円）

区分			初年度 一括手続 入学手続時	初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	次年度	２年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	－	220,000
		授業料	405,000	405,000	810,000	810,000	1,620,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	440,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	10,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	12,000
合計			746,000	515,000	1,261,000	1,041,000	2,302,000

15. 既修得単位の認定

入学後必要書類を提出された場合は、出身学校での取得単位に応じて、各学部が定めた基準により単位認定を行います。なお、認定単位数が少なければ、入学後の２年間で卒業できない場合もあります。

また、入学後に教育職員免許状の取得を目指す方は、２年間で免許状取得に必要な単位数を満たすことができないこともあります。

合格者に発送する入学手続要項において、提出書類などのご案内をいたしますので、期限を守って必要書類を提出してください。

【編入学・学士入学にともなう単位認定等についてのお問い合わせ先】

➡教学センター　各学部直通電話

商学部　082-830-1121
人文学部　082-830-1122
法学部　082-830-1123
経済科学部　082-830-1304
人間環境学部　082-830-1306

入学志願票等記入上の注意

記入にあたっては、※欄以外すべてボールペン（黒）を使い、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。

入学志願票（A）

(1) 志願学部・学科・専攻

志願する学部・学科・専攻を記入してください。

（例）　商学部商学科を志願する場合。

(3) 氏名

氏名を姓・名の区分に従い、漢字で明記してください。フリガナ欄は、カタカナで**左端から記入**してください。濁点「゛」、半濁点「゜」も１マス使用し、**姓と名の間は１マスあけて**ください。

（例）　浅野　純平の場合
（アサノジュンペイ）

(4) 生年月日・性別

生年月日は西暦４ケタで記入し、性別は該当する番号を○で囲んでください。

（例）　2003年５月15日生まれ男の場合

２０２４年度　**広島修道大学**　**編入学試験 学士入学試験**　**入学志願票（A）**

志願学部 学科・専攻	商 学部	商 学科	専攻

(2) 種別

入学試験種別の該当の番号を○で囲んでください。

（例）　編入学試験を受験する場合

種別		受験番号
①	編入学試験	※ T
2	学士入学試験	

※欄は記入しないこと。

(6) 住所・連絡先

この住所宛に合格通知書を郵送しますので、郵便番号、都道府県、市、郡、区、町、村、丁目、番地、号、下宿先等、電話番号を正確に丁寧に記入してください。

フリガナ	アサノ ジュンペイ		生年月日 西暦 年 月 日	性別
氏名	（姓）浅野	（名）純平	2003年5月15日	① 男 2 女
現住所（連絡先）	（郵便番号 731-3195） 広島 都・道 府・県 広島市安佐南区大塚2丁目33-150沼田マンション203号		TEL（082）848-XXXX 携帯（090）1234-XXXX	

(7) 出身学校

大学名、学部・学科を正確に記入し、短期大学、高等専門学校、専修学校、大学のいずれかを○で囲んでください。

出身学校（出願資格）	沼田	短期大学 高等専門学校 専修学校 大学	学部 商 学科
	1．大学２年以上在学 62単位修得（修得見込）	②．卒業（卒業見込）	3．修了（修了見込）

履歴（学歴について記入）	
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月

(8) 出願資格

該当する出願資格の番号を○で囲んでください。

(9) 履歴

- 年月は西暦で数字を記入してください。
- 高等学校卒業年月から記入してください。
- 見込で出願する方は出願資格を満たす年月を記入してください。

受験票（B） 表

(1) 氏名
漢字欄は、姓と名をそれぞれの欄に記入してください。
フリガナはカタカナで記入してください。

(5) 写真貼付欄
3か月以内に撮影した上半身脱帽正面のカラー写真（4㎝×3㎝）を全面糊付けしてください。
写真の裏面に志願学科・専攻、氏名を明記してください。
入学が許可された場合は、学生証用写真として使用します。

(2) 志願学部・学科・専攻
志願する学部・学科・専攻を記入してください。

2024年度 **広島修道大学**
編入学試験・学士入学試験
受　験　票（B）

受験番号	※ T	
フリガナ	アサ ノ	ジュン ペイ
氏　名	(姓) 浅野	(名) 純平

志願学部 学科・専攻	商 学部　商 学科 専攻

カラー写真
（4㎝×3㎝）
（写真の裏に氏名と志願学科・専攻を記入し、貼付してください。）

試験科目		
英　語	①	
小　論　文	②	
経　済　学	3	
数　学	4	

（数字を○で囲んでください。）

試験科目		
① 英　語		
② 小　論　文		
3 経　済　学		
4 数　学		

（数字を○で囲んでください。）

	試験日
商学部	2024年 1月6日(土)
人文学部 法学部 経済科学部 人間環境学部	2024年 3月4日(月)

(3) 試験科目
受験する科目の該当する番号を○で囲んでください。

受験上の諸注意

(1) 受験生は、9時40分までに入室し、受験上の諸注意を受けること。
(2) 毎試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できない。
(3) 筆記用具、受験票は必ず持参すること。
(4) 試験日に「受験票」を忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て、係員の指示に従うこと。
(5) 試験室には壁掛時計は設置していない。時計を持参すること。

（裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）

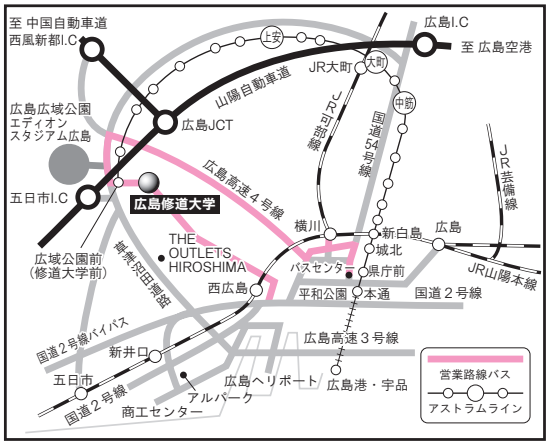
(10) 試験科目
受験する科目の該当する番号を○で囲んでください。
※ 受験票(B)と囲んだ○が異なることのないようにしてください。
(例) 商学部商学科の編入学試験を受験する場合
1. 英　語
2. 小論文

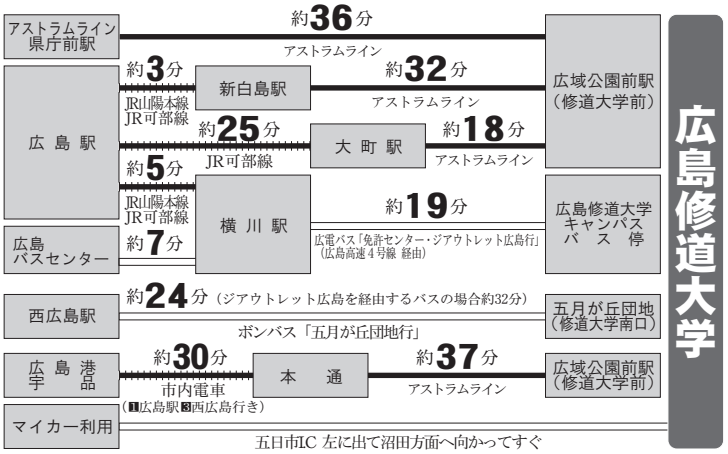
受験票（B） 裏

(1) 郵便番号・住所・氏名
郵便番号、住所、氏名を明記してください。

試　験　場　案　内

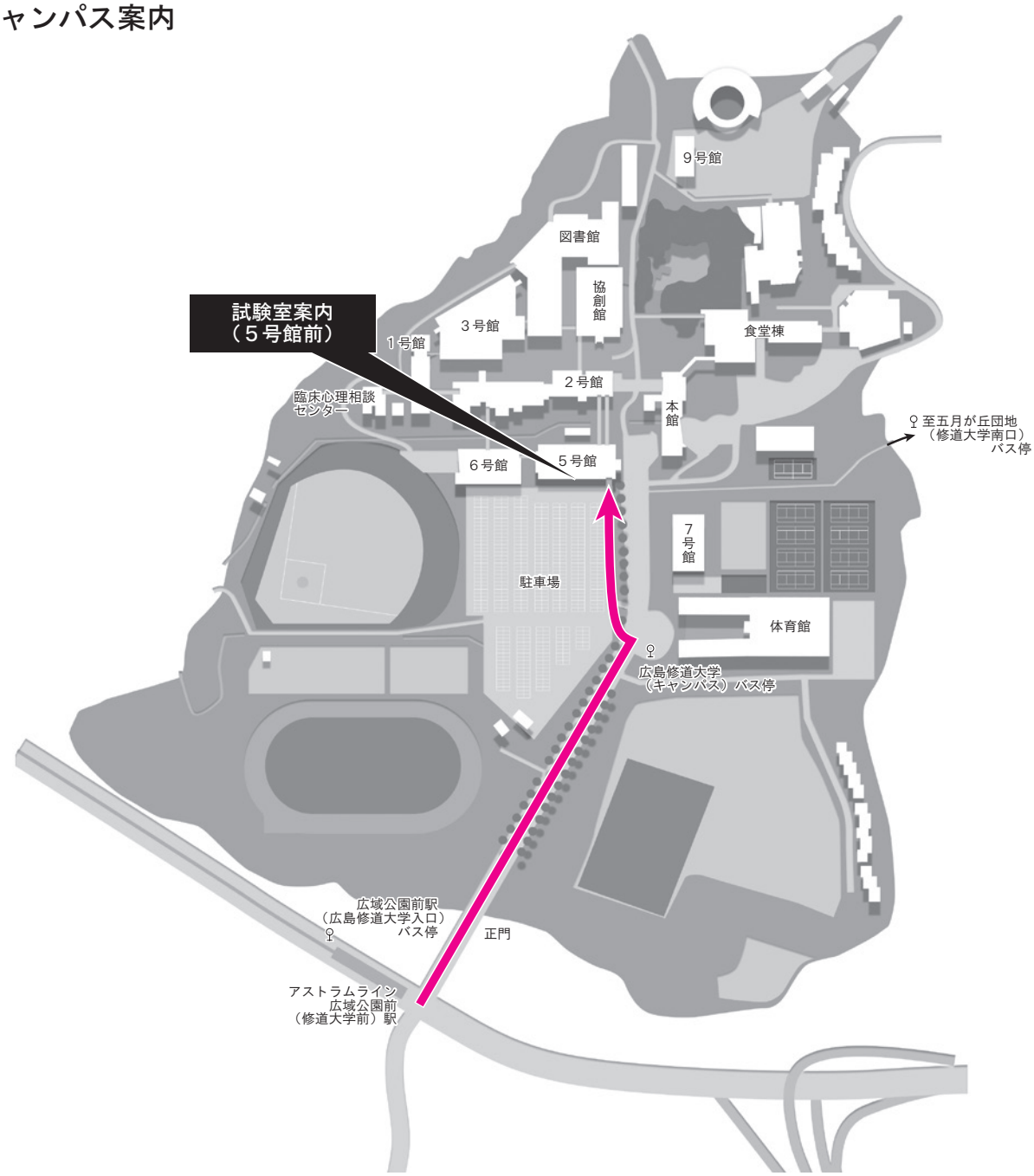
本学への交通案内





＊曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

キャンパス案内



各種提出書類（本学所定用紙について）

出願書類を確認の上、下記の本学所定用紙を提出してください。

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等を使用し、**再記入してください。

１．履歴書（35ページ）

※編 入 学：外国において学校教育14年の課程を修了した者及び外国人留学生は提出してください。

※学士入学：外国において学校教育16年の課程を修了した者及び外国人留学生は提出してください。

２．留学にかかる収入予定書（37ページ）

※外国人留学生は提出してください。

３．志望理由書（39ページ）

志願者本人の自筆、横書きで作成してください。

本学当該学部を志望する動機・理由を書いてください。その際、これまで大学や短期大学等で勉強してきたこと、及び将来の希望を関連させて、日本語**1,000字**程度にまとめてください。

４．入学志願票（Ａ）・受験票（Ｂ）（41ページ）

30～31ページ「志願票等記入上の注意」をよく読み、誤りのないように記入してください。

入学志願票（Ａ）と受験票（Ｂ）は一連綴りになっています。

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2024年度　編入学試験・学士入学試験

履　　歴　　書

RESUME

氏　　名 Full name				※受験番号（記入しない） T	Color Photo（カラー写真）
生 年 月 日 Date of Birth	(month)　(day)　(year) ・　・		性別 Sex	男　女 Male　Female	上半身脱帽正面で撮影したものを貼付してください。 （4㎝×3㎝） Taken half length, without hat, full front face.
国　　籍 Nationality		現在所有のビザ Status of Residence			
日本語能力（〇で囲む） Knowledge of Japanese (Circle)	優　良　可　不可 Excellent　Good　Fair　Poor				

日本語を学習した学校・機関名を記入すること。
Name the school and/or facilities where you learned Japanese.

学校名
School

期　　間　(month) (year)　(month) (year)
Term From　.　To　.

学　歴　Educational Background
（注）小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。
Note: List, in chronological order, all the schools you attended starting with Elementary (Primary) School.

学　校　名 School	学 校 所 在 地 Location	在　学　期　間 Period of Attendance (month) (year)　(month) (year)
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.

職　　歴　Occupational experience

勤　務　先	所　在　地	期　　間 (month) (year)　(month) (year)
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.

兵役終了　Discharge from military service	(month)　(year) .	その他 Other remarks	
日本における住所 Address in Japan			
本国における住所 Home Address			

（切り取り提出のこと）

2024年度　編入学試験・学士入学試験

留学にかかる収入予定書

STATEMENT OF SOURCE OF FUNDS

氏　　名（Full name）	国　　籍（Nationality）	受験番号（Application No.）
		（記入しない） ※ T
学　部（Faculty）	学　科（Department）	専　攻（Major）

1年間の留学にかかる学費・生活費の支払い方法について記述すること。
(State the source of funds to cover all the expenses required for one-year study in Japan)

[収入項目] Source of funds	[金　　額] Amount
現　　金（Cash）	¥
預　　金（Deposit）	¥
送　　金（Remittance）	¥
奨 学 金（Scholarship）	¥
	¥
	¥
	¥
☆合　　計(Total)	¥

署　　名
Signature

（切り取り提出のこと）

広島修道大学

2024年度　編入学試験・学士入学試験

志　望　理　由　書

受験番号	※記入しない T

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志望学部・学科・専攻＿＿＿＿＿＿学部＿＿＿＿＿＿学科＿＿＿＿＿＿専攻

＊黒ボールペンで記入してください。

（切り取り提出のこと）

（裏面へつづく。）

⇩表側からのつづきは、ここから書き始めること。

800字

1,000字

（切り取り提出のこと）

（本人切り離し）

２０２４年度　広島修道大学　編入学試験　学士入学試験　入学志願票（Ａ）

志願学部 学科・専攻	学部　　学科　　専攻

種別		受験番号
1	編入学試験	※ T
2	学士入学試験	

※欄は記入しないこと。

カラー写真
（4 cm × 3 cm）
（写真の裏に氏名と志願学科・専攻を記入し、貼付してください。）

フリガナ			生年月日			性別	
氏名	（姓）	（名）	西暦年	月	日	1	男
						2	女

現住所 （連絡先）	（郵便番号　　－　　） 都・道 府・県	TEL（　　）　－ 携帯（　　）　－

出身学校 （出願資格）	短期大学 高等専門学校 専修学校 大学	学部　　科 学科
	1．大学２年以上在学 62単位修得（修得見込）	2．卒業（卒業見込）　3．修了（修了見込）

履歴 （学歴について記入）	
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月
	年　月

試験科目		
	英語	1
	小論文	2
	経済学	3
	数学	4

（数字を○で囲んでください。）

（切り離さないで提出）

２０２４年度　広島修道大学
編入学試験・学士入学試験
受　験　票（Ｂ）

受験番号	※ T
フリガナ	
氏名	（姓）　（名）

※欄は記入しないこと。

志願学部 学科・専攻	学部　　学科 専攻

1	英語	試験科目
2	小論文	
3	経済学	
4	数学	

（数字を○で囲んでください。）

試験日

商学部　2024年 1月6日(土)

人文学部
法学部
経済科学部
人間環境学部
2024年 3月4日(月)

受験上の諸注意

(1) 受験生は、９時40分までに入室し、受験上の諸注意を受けること。
(2) 毎試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できない。
(3) 筆記用具、受験票は必ず持参すること。
(4) 試験日に「受験票」を忘れた場合は、直ちに入試本部に申し出て、係員の指示に従うこと。
(5) 試験室には壁掛時計は設置していない。時計を持参すること。

（裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）

速　達

郵　便　は　が　き

料金後納
郵　便

様

広島修道大学　入学センター

〒731-3195　広島市安佐南区大塚東１－１－１
☎０８２－８３０－１１００（直通）

〒731-3195　広島市安佐南区大塚東一丁目１番１号　広島修道大学　入学センター

TEL 082-830-1100（入学センター）
https://www.shudo-u.ac.jp（ホームページ）
https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/（入試情報サイト）

この要項は再生紙を使用しております。